



## 2020年9月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年11月9日

上場会社名 浜松ホトニクス株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 6965 URL <https://www.hamamatsu.com/jp/ja/index.html>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 晝馬 明  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長 (氏名) 森 和彦 TEL 053-452-2141  
 定時株主総会開催予定日 2020年12月18日 配当支払開始予定日 2020年12月21日  
 有価証券報告書提出予定日 2020年12月18日  
 決算補足説明資料作成の有無： 有  
 決算説明会開催の有無： 有 (アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年9月期の連結業績 (2019年10月1日～2020年9月30日)

#### (1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年9月期	140,251	△3.9	21,752	△14.4	22,692	△13.6	16,523	△17.0
2019年9月期	145,912	1.1	25,403	△6.8	26,277	△6.4	19,918	△6.1

(注) 包括利益 2020年9月期 15,904百万円 ( 0.1%) 2019年9月期 15,882百万円 ( △27.0%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2020年9月期	106.73	—	8.0	8.5	15.5
2019年9月期	128.67	—	10.1	10.4	17.4

(参考) 持分法投資損益 2020年9月期 17百万円 2019年9月期 225百万円

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年9月期	271,615	213,515	78.3	1,373.79
2019年9月期	259,694	203,647	78.2	1,311.11

(参考) 自己資本 2020年9月期 212,680百万円 2019年9月期 202,957百万円

#### (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2020年9月期	23,321	△16,215	△6,508	68,773
2019年9月期	30,875	△16,086	△6,681	68,521

### 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
2019年9月期	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2020年9月期	—	20.00	—	20.00	40.00	6,202	31.1	3.1
2020年9月期	—	20.00	—	20.00	40.00	6,203	37.5	3.0
2021年9月期(予想)	—	20.00	—	20.00	40.00		37.3	

### 3. 2021年9月期の連結業績予想 (2020年10月1日～2021年9月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	70,800	△3.0	9,600	△21.5	9,700	△23.0	7,500	△16.7	48円45銭
通期	145,600	3.8	22,200	2.1	22,400	△1.3	16,600	0.5	107円23銭

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 有  
 ② ①以外の会計方針の変更： 無  
 ③ 会計上の見積りの変更： 無  
 ④ 修正再表示： 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）  
 ② 期末自己株式数  
 ③ 期中平均株式数

2020年9月期	165,027,259株	2019年9月期	165,011,568株
2020年9月期	10,213,977株	2019年9月期	10,213,968株
2020年9月期	154,808,658株	2019年9月期	154,797,600株

(参考) 個別業績の概要

1. 2020年9月期の個別業績（2019年10月1日～2020年9月30日）

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年9月期	115,586	△3.5	13,940	△20.3	17,761	△18.4	13,519	△22.0
2019年9月期	119,763	3.0	17,482	△0.7	21,771	2.1	17,326	3.2

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2020年9月期	87.18	—
2019年9月期	111.74	—

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%		円 銭	
2020年9月期	223,685		176,954		79.1		1,141.04	
2019年9月期	213,697		169,569		79.4		1,093.53	

(参考) 自己資本 2020年9月期 176,954百万円 2019年9月期 169,569百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 経営成績等の概況（5）今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況 .....	3
(4) 新型コロナウイルス感染症の連結業績への影響について .....	3
(5) 今後の見通し .....	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	4
3. 連結財務諸表及び主な注記 .....	5
(1) 連結貸借対照表 .....	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 .....	7
(連結損益計算書) .....	7
(連結包括利益計算書) .....	9
(3) 連結株主資本等変動計算書 .....	10
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書 .....	12
(5) 連結財務諸表に関する注記事項 .....	13
(継続企業の前提に関する注記) .....	13
(会計方針の変更) .....	13
(追加情報) .....	13
(セグメント情報) .....	14
(1株当たり情報) .....	17
(重要な後発事象) .....	17
4. 個別財務諸表 .....	18
(1) 貸借対照表 .....	18
(2) 損益計算書 .....	20
(3) 株主資本等変動計算書 .....	21

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、米中貿易摩擦や海外経済の減速による輸出の低迷が続く中で、さらに新型コロナウイルスの世界的な感染拡大により需要が大幅に減少したほか、企業における設備投資の抑制が進むなど景気は極めて厳しい状況の中で推移いたしました。

このような状況におきまして、当社グループは、従業員の新型コロナウイルスへの感染による生産活動への影響を未然に防ぐことに努め、製品の安定供給を進めるなど事業に与えるリスクの最小化を図ってまいりました。また、将来の売上拡大に備えた販売体制の強化や設備投資を進める一方で、長年にわたり培ってきた当社独自の光技術を活かした研究開発を推進することで、売上高、利益の確保に努力してまいりました。

なお、当連結会計年度の業績につきましては、国内売上げ、海外売上げともに減少いたしました結果、売上高は140,251百万円と前期に比べ5,660百万円(3.9%)の減少となりました。利益面につきましても、営業利益は21,752百万円と前期に比べ3,650百万円(14.4%)減少、経常利益は22,692百万円と前期に比べ3,584百万円(13.6%)減少、親会社株主に帰属する当期純利益は16,523百万円と前期に比べ3,395百万円(17.0%)減少となり、遺憾ながら減収減益となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

#### [電子管事業]

光電子増倍管は、医用分野におきまして、血液分析などの検体検査装置向けの売上げが、中国を中心に国内外での需要が高まり、増加いたしました。しかしながら、油田探査装置向けが、油田開発投資の低迷により売上げが大きく減少したほか、学術向け及び環境・発光分析向けの売上げも減少いたしました結果、光電子増倍管の売上げは減少いたしました。

イメージ機器及び光源は、産業分野におきまして、半導体検査装置向けのキセノンランプの売上げは好調であったものの、シリコンウェハを高速・高品位に切断するステルスダイシングエンジンの売上げが、米中貿易摩擦の影響を受けて減少いたしました。また、下期において環境分析等に用いられる重水素ランプが、大学や研究機関等の閉鎖により、アジアを中心に売上げが減少いたしました。この結果、イメージ機器及び光源の売上げは減少いたしました。

以上の結果、光電子増倍管、イメージ機器及び光源をあわせました電子管事業といたしましては、売上高は53,257百万円(前期比8.2%減)、営業利益は17,833百万円(前期比13.0%減)となりました。

#### [光半導体事業]

光半導体素子は、医用分野におきまして、歯科用のフラットパネルセンサの売上げが、顧客の生産活動の停止による需要の減少を受け、売上げが減少いたしました。しかしながら、X線CTや検体検査装置向けのシリコンフォトダイオードの売上げが国内外での需要の高まりを受けて増加いたしました。また、産業分野におきまして、半導体製造・検査装置向けのイメージセンサ等の売上げが、半導体市場の復調を受けて増加いたしました。

この結果、光半導体事業といたしましては、売上高は65,810百万円(前期比1.5%増)、営業利益は18,391百万円(前期比0.9%減)となりました。

#### [画像計測機器事業]

画像処理・計測装置は、遠隔病理診断に用いられる病理デジタルスライドスキャナの売上げが、欧米における病院間ネットワークの需要の高まりを受けて増加いたしました。しかしながら、生命科学やバイオ分野で用いられるデジタルカメラが、大学や研究機関等の活動停滞の影響により国内外で売上げが減少いたしました。また、半導体故障解析装置も、国内及び欧州を中心に設備投資抑制の影響を受けて減少いたしました。

この結果、画像計測機器事業といたしましては、売上高は16,728百万円(前期比8.7%減)、営業利益は3,100百万円(前期比15.9%減)となりました。

#### [その他事業]

半導体レーザーに係る事業、子会社の㈱磐田グランドホテルが営むホテル事業及び子会社の北京浜松光子技術股份有限公司の独自製品に係る事業を含んでおります。

その他事業の売上高は4,456百万円(前期比5.7%減)、営業損失は741百万円(前期は営業損失197百万円)となりました。

## (2) 当期の財政状態の概況

流動資産の主な変動は、現金及び預金が4,650百万円減少したものの、たな卸資産が5,983百万円、有価証券が2,988百万円それぞれ増加したことなどから、流動資産は前連結会計年度末に比べ3,384百万円増加しております。

固定資産の主な変動は、有形固定資産が建物及び構築物の増加などにより8,890百万円増加したことなどから、固定資産は前連結会計年度末に比べ8,536百万円増加しております。

この結果、当連結会計年度末の総資産は、前連結会計年度末に比べ11,921百万円増加し、271,615百万円となりました。

流動負債の主な変動は、支払手形及び買掛金が1,083百万円、未払法人税等が502百万円それぞれ減少したものの、設備関係の未払金及び電子記録債務（流動負債その他）が2,515百万円増加したことなどから、流動負債は前連結会計年度末に比べ1,972百万円増加しております。

固定負債の主な変動は、退職給付に係る負債が201百万円増加したことなどから、固定負債は前連結会計年度末に比べ80百万円増加しております。

この結果、当連結会計年度末の負債合計は、前連結会計年度末に比べ2,053百万円増加し、58,100百万円となりました。

純資産は、親会社株主に帰属する当期純利益の計上などにより利益剰余金が10,320百万円増加したことなどから、当連結会計年度末の純資産は、前連結会計年度末に比べ9,868百万円増加し、213,515百万円となりました。

## (3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末の現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の残高は、前連結会計年度末に比べ252百万円増加し、68,773百万円となりました。

当連結会計年度のキャッシュ・フローの状況を、前期と比較しますと次のとおりであります。

営業活動によるキャッシュ・フローでは、前期に比べ7,553百万円少ない23,321百万円の資金を得ております。これは主として、税金等調整前当期純利益が3,961百万円、仕入債務の増減額が前連結会計年度は2,274百万円の増加であったのに対して、当連結会計年度は811百万円の減少となったことなどにより、収入減となっております。

投資活動によるキャッシュ・フローでは、前期に比べ129百万円多い16,215百万円の資金を支出しております。これは主として、非キャッシュである3ヶ月超の定期預金への預入支出が1,808百万円、関係会社出資金の払込による支出が679百万円それぞれ減少したものの、有形固定資産の取得による支出が3,428百万円増加したことなどにより、支出増となっております。

財務活動によるキャッシュ・フローでは、前期に比べ172百万円少ない6,508百万円の資金を支出しております。これは主として、借入金の返済による支出が減少したことなどにより、支出減となっております。

## (4) 新型コロナウイルス感染症（以下コロナウイルス）の連結業績への影響について

第3四半期にコロナウイルスの影響は業績に顕著に現れ、第3四半期3カ月間の連結売上高は前年同期比9.9%減（△3,332百万円）、当第2四半期比21.3%減（△8,204百万円）となりました。

業績に影響を与えている主な事象は以下のとおりであります。

- ・ 欧州を中心とした海外顧客の工場稼働停止等による製品の出荷停止、納期延伸
- ・ 米国を中心とした大学、研究機関等閉鎖による受注機会の減少
- ・ 欧州を中心に都市ロックダウンの影響による国家プロジェクト等の入札延期、納期延伸
- ・ 国内外主要顧客の営業活動停止、停滞による当社製品の在庫調整
- ・ 国内外の営業活動制限による受注機会の減少

※欧米では未だ多くの販売現地法人にて在宅勤務、シフト勤務継続中

以上の様な事象面の影響を受け、分野別の主な影響としては以下のとおりであります。

- ・ 医用分野で欧州を中心に歯科用フラットパネルセンサ等売上げの大幅減少
- ・ 産業分野で空港等の閉鎖による手荷物検査用受光センサの売上げ減少
- ・ 産業分野で世界的な自動車生産の減少によりバッテリー等の検査用光源の売上げ減少並びに輸送分野で自動車向け受光センサ並びに光源等の売上げ減少

一方、医用分野の中では、PCR検査用、血液検査用、X線CT用の受光センサ等で需要が拡大しており、一部製品の売上げは増加しております。

第4四半期には、各国経済活動の再開により、業績の下押しはほぼ止まったと見ております。

この結果、下半期連結売上高は67,276百万円となり、第3四半期決算発表時の下半期連結売上高予想65,624百万円比2.5%の増加となりました。これは第2四半期決算発表時の下半期連結売上高予想74,624百万円に対して9.8%の減少となっております。

以上、コロナウイルスによる影響につきましては、第3四半期以降、連結ベース売上高で概ね70億円程度と計算しております。

#### (5) 今後の見通し

当社グループを取りまく経営環境につきましては、半導体分野を中心とする米中間の貿易摩擦拡大に加え、欧米の感染が再拡大傾向にあり、新型コロナウイルス感染症（以下コロナウイルス）の終息が予測できないことから、世界経済の回復は弱く、景気の先行きは大変厳しい状況が続くと認識しております。

この様な経営環境の中、現時点では第2四半期までは、コロナウイルスの影響は継続すると予想しており、第2四半期連結予想売上高は70,800百万円と感染の影響が殆ど現れていなかった前年同期比約3%の減少を見込み、本格的な業績回復は第3四半期以降と予想しております。

以上により、2021年9月期の連結売上高については、145,600百万円（前期比3.8%増）を見込んでおります。また、利益面につきましては、営業利益22,200百万円（前期比2.1%増）、経常利益22,400百万円（同1.3%減）、親会社株主に帰属する当期純利益16,600百万円（同0.5%増）を計画しております。なお、業績予想の前提となる為替レートにつきましては、1米ドル100円、1ユーロ115円、1中国元15円を想定しております。

2021年9月期（2020年10月1日～2021年9月30日）

連結業績予想

（単位：百万円）

	第2四半期 連結累計期間	前期比 (%)	通 期	
				前期比 (%)
売上高	70,800	△3.0	145,600	3.8
営業利益	9,600	△21.5	22,200	2.1
経常利益	9,700	△23.0	22,400	△1.3
親会社株主に帰属 する当期純利益	7,500	△16.7	16,600	0.5

## 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。

なお、国際財務報告基準（IFRS）の適用については、今後の事業展開や制度の動向を踏まえつつ、適切に対応していく方針であります。

## 3. 連結財務諸表及び主な注記

## (1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年9月30日)	当連結会計年度 (2020年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	78,414	73,763
受取手形及び売掛金	35,381	32,220
有価証券	3,646	6,634
商品及び製品	9,730	11,541
仕掛品	19,184	21,609
原材料及び貯蔵品	8,614	10,362
その他	5,111	7,316
貸倒引当金	△174	△155
流動資産合計	159,909	163,293
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	84,328	99,050
減価償却累計額	△48,466	△51,958
建物及び構築物(純額)	35,861	47,092
機械装置及び運搬具	87,855	92,963
減価償却累計額	△76,141	△80,438
機械装置及び運搬具(純額)	11,714	12,525
工具、器具及び備品	33,372	35,096
減価償却累計額	△28,905	△30,068
工具、器具及び備品(純額)	4,467	5,028
土地	16,910	16,933
リース資産	526	868
減価償却累計額	△296	△398
リース資産(純額)	230	469
使用権資産	—	887
減価償却累計額	—	△270
使用権資産(純額)	—	616
建設仮勘定	8,266	3,674
有形固定資産合計	77,450	86,341
無形固定資産		
顧客関連資産	2,226	1,911
その他	3,098	3,124
無形固定資産合計	5,324	5,035
投資その他の資産		
投資有価証券	3,123	3,081
投資不動産	1,963	1,601
減価償却累計額	△1,379	△1,299
投資不動産(純額)	583	301
繰延税金資産	11,010	11,226
その他	2,310	2,354
貸倒引当金	△19	△19
投資その他の資産合計	17,009	16,945
固定資産合計	99,785	108,321
資産合計	259,694	271,615

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年9月30日)	当連結会計年度 (2020年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,885	5,802
電子記録債務	5,771	6,030
短期借入金	1,454	1,511
1年内返済予定の長期借入金	162	69
未払法人税等	3,167	2,664
賞与引当金	4,768	4,500
その他	17,220	20,823
流動負債合計	39,429	41,402
固定負債		
長期借入金	6,349	6,280
繰延税金負債	646	576
厚生年金基金解散損失引当金	519	503
退職給付に係る負債	7,878	8,080
その他	1,222	1,257
固定負債合計	16,617	16,697
負債合計	56,046	58,100
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	34,928	34,964
資本剰余金	34,672	34,708
利益剰余金	156,036	166,357
自己株式	△20,795	△20,795
株主資本合計	204,842	215,234
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	744	742
為替換算調整勘定	△1,877	△2,152
退職給付に係る調整累計額	△752	△1,144
その他の包括利益累計額合計	△1,885	△2,553
非支配株主持分	689	834
純資産合計	203,647	213,515
負債純資産合計	259,694	271,615

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書  
(連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2018年10月1日 至 2019年9月30日)	当連結会計年度 (自 2019年10月1日 至 2020年9月30日)
売上高	145,912	140,251
売上原価	71,916	71,774
売上総利益	73,996	68,477
販売費及び一般管理費		
運賃及び荷造費	1,286	1,285
広告宣伝費	1,193	730
給料	12,163	12,507
賞与引当金繰入額	1,524	1,416
退職給付費用	883	910
減価償却費	2,465	2,790
支払手数料	4,468	4,403
研究開発費	13,071	12,147
貸倒引当金繰入額	29	53
その他	11,505	10,479
販売費及び一般管理費合計	48,592	46,724
営業利益	25,403	21,752
営業外収益		
受取利息	236	208
受取配当金	55	56
固定資産賃貸料	79	79
投資不動産賃貸料	86	81
為替差益	—	94
持分法による投資利益	225	17
その他	636	628
営業外収益合計	1,319	1,164
営業外費用		
支払利息	55	55
不動産賃貸費用	137	123
為替差損	179	—
その他	72	45
営業外費用合計	445	224
経常利益	26,277	22,692
特別利益		
固定資産売却益	46	58
補助金収入	113	222
投資有価証券売却益	—	3
特別利益合計	159	284

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2018年10月1日 至 2019年9月30日)	当連結会計年度 (自 2019年10月1日 至 2020年9月30日)
特別損失		
固定資産売却損	58	0
固定資産除却損	35	28
固定資産圧縮損	113	191
減損損失	—	431
投資有価証券評価損	9	66
特別損失合計	217	718
税金等調整前当期純利益	26,220	22,259
法人税、住民税及び事業税	6,580	5,808
法人税等調整額	△347	△133
法人税等合計	6,232	5,674
当期純利益	19,987	16,584
非支配株主に帰属する当期純利益	69	60
親会社株主に帰属する当期純利益	19,918	16,523

(連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2018年10月1日 至 2019年9月30日)	当連結会計年度 (自 2019年10月1日 至 2020年9月30日)
当期純利益	19,987	16,584
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△800	△1
為替換算調整勘定	△3,156	△286
退職給付に係る調整額	△138	△391
持分法適用会社に対する持分相当額	△9	△0
その他の包括利益合計	△4,105	△680
包括利益	15,882	15,904
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	15,842	15,855
非支配株主に係る包括利益	40	48

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2018年10月1日 至 2019年9月30日)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	34,928	34,672	142,321	△20,795	191,126
当期変動額					
新株の発行					—
剰余金の配当			△6,202		△6,202
親会社株主に帰属する当期純利益			19,918		19,918
自己株式の取得					—
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	13,715	—	13,715
当期末残高	34,928	34,672	156,036	△20,795	204,842

	その他の包括利益累計額				非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る 調整累計額	その他の包括利 益累計額合計		
当期首残高	1,545	1,259	△614	2,190	668	193,985
当期変動額						
新株の発行						—
剰余金の配当						△6,202
親会社株主に帰属する当期純利益						19,918
自己株式の取得						—
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△800	△3,136	△138	△4,075	21	△4,054
当期変動額合計	△800	△3,136	△138	△4,075	21	9,661
当期末残高	744	△1,877	△752	△1,885	689	203,647

当連結会計年度 (自 2019年10月1日 至 2020年9月30日)

(単位: 百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	34,928	34,672	156,036	△20,795	204,842
当期変動額					
新株の発行	35	35			71
剰余金の配当			△6,202		△6,202
親会社株主に帰属する当期純利益			16,523		16,523
自己株式の取得				△0	△0
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)					
当期変動額合計	35	35	10,320	△0	10,391
当期末残高	34,964	34,708	166,357	△20,795	215,234

	その他の包括利益累計額				非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る 調整累計額	その他の包括利 益累計額合計		
当期首残高	744	△1,877	△752	△1,885	689	203,647
当期変動額						
新株の発行						71
剰余金の配当						△6,202
親会社株主に帰属する当期純利益						16,523
自己株式の取得						△0
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)	△1	△274	△391	△668	144	△523
当期変動額合計	△1	△274	△391	△668	144	9,868
当期末残高	742	△2,152	△1,144	△2,553	834	213,515

## (4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2018年10月1日 至 2019年9月30日)	当連結会計年度 (自 2019年10月1日 至 2020年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前当期純利益	26,220	22,259
減価償却費	12,060	12,691
減損損失	—	431
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	22	△18
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△321	△276
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	312	△344
受取利息及び受取配当金	△291	△264
支払利息	55	55
為替差損益 (△は益)	△11	10
持分法による投資損益 (△は益)	△225	△17
有形固定資産売却損益 (△は益)	12	△58
有形固定資産除却損	35	28
売上債権の増減額 (△は増加)	△721	3,169
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△3,969	△5,905
仕入債務の増減額 (△は減少)	2,274	△811
その他	1,476	△1,528
小計	36,931	29,421
利息及び配当金の受取額	282	263
利息の支払額	△55	△55
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△6,282	△6,308
営業活動によるキャッシュ・フロー	30,875	23,321
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の純増減額 (△は増加)	△310	1,962
有価証券の取得による支出	△3,659	△4,289
有価証券の償還による収入	3,000	4,294
有形固定資産の取得による支出	△13,984	△17,412
有形固定資産の売却による収入	136	122
無形固定資産の取得による支出	△483	△512
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による 支出	—	△313
関係会社出資金の払込による支出	△679	—
その他	△105	△67
投資活動によるキャッシュ・フロー	△16,086	△16,215
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△174	56
長期借入れによる収入	3,000	—
長期借入金の返済による支出	△3,178	△162
配当金の支払額	△6,210	△6,209
その他	△118	△193
財務活動によるキャッシュ・フロー	△6,681	△6,508
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1,410	△344
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	6,697	252
現金及び現金同等物の期首残高	61,824	68,521
現金及び現金同等物の期末残高	68,521	68,773

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(IFRS第16号「リース」の適用)

当連結会計年度より、一部の在外連結子会社は、IFRS第16号「リース」を適用し、原則としてすべての借手としてのリースを貸借対照表に資産及び負債として計上しております。

本基準の適用にあたっては、経過的な取扱いに従っており、本基準の適用による累積的影響を適用開始日に認識する方法を採用しております。

この結果、当連結会計年度末の使用権資産が616百万円増加し、流動負債のその他が182百万円及び固定負債のその他が352百万円増加しております。また、従来連結貸借対照表の無形固定資産のその他に含めていた土地使用権75百万円については、使用権資産に含めて記載しております。

なお、この変更による当連結会計年度の損益に与える影響は軽微であります。

(追加情報)

(会計上の見積りに対する新型コロナウイルス感染症の影響について)

新型コロナウイルス感染症拡大に伴い世界各国において経済活動の停滞化とその長期化懸念により、製品納入遅延や受注機会の減少などの影響を受けたことから、当社グループの2020年9月期の事業活動及び業績に影響を及ぼしております。新型コロナウイルス感染症の終息時期などを正確に予想することは困難な状況にありますが、この影響は2021年9月期の上半期まで続き、同下半期にかけて回復に向かうと仮定して、固定資産の減損や繰延税金資産の回収可能性等に係る会計上の見積りを行っております。

なお、新型コロナウイルスによる経済活動への影響は、不確実性が高いため、上記仮定に変化が生じた場合は、将来における財政状態、経営成績に影響を及ぼす可能性があります。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、本社に製品・サービス別の事業部を置き、各事業部は、取り扱う製品・サービスについて国内及び海外の包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

したがって、当社は、事業部を基礎とした製品・サービス別のセグメントから構成されており、「電子管事業」、「光半導体事業」及び「画像計測機器事業」の3つを報告セグメントとしております。

「電子管事業」は、光電子増倍管、イメージ機器及び光源等を製造・販売しております。「光半導体事業」は、光半導体素子等を製造・販売しております。「画像計測機器事業」は、画像処理・計測装置等を製造・販売しております。

2 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産その他の項目の金額の算定方法

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。セグメント間の内部売上高又は振替高は市場実勢価格に基づいております。

3 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度(自 2018年10月1日 至 2019年9月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	連結 財務諸表 計上額 (注) 3
	電子管	光半導体	画像計測機 器	計				
売上高								
外部顧客への売上 高	58,005	64,867	18,315	141,187	4,724	145,912	—	145,912
セグメント間の内 部売上高又は振替 高	1,587	1,138	96	2,823	848	3,672	△3,672	—
計	59,593	66,006	18,412	144,011	5,573	149,584	△3,672	145,912
セグメント利益又は 損失(△)	20,501	18,554	3,685	42,741	△197	42,544	△17,140	25,403
セグメント資産	54,891	59,769	13,160	127,821	6,891	134,712	124,982	259,694
その他の項目								
減価償却費	3,632	4,090	898	8,621	494	9,115	2,841	11,957
のれん償却額	152	—	—	152	—	152	—	152
有形固定資産及び 無形固定資産の増 加額	5,420	8,436	791	14,648	441	15,090	2,801	17,891

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、半導体レーザーに係る事業、子会社の㈱磐田グランドホテルが営むホテル事業及び子会社の北京浜松光子技術股份有限公司の独自製品に係る事業を含んでおります。

2 調整額は以下のとおりであります。

- (1) セグメント利益又は損失(△)の調整額△17,140百万円には、セグメント間取引消去△1,560百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△15,580百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び基礎的研究費であります。
- (2) セグメント資産の調整額124,982百万円の主な内容は、各報告セグメントに配分していない全社資産であります。
- (3) 減価償却費の調整額2,841百万円の主な内容は、各報告セグメントに配分していない全社資産に係る減価償却費であります。
- (4) 有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額2,801百万円の主な内容は、各報告セグメントに配分していない全社資産に係る固定資産の増加額であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

当連結会計年度(自 2019年10月1日 至 2020年9月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	連結 財務諸表 計上額 (注) 3
	電子管	光半導体	画像計測機 器	計				
売上高								
外部顧客への売上 高	53,257	65,810	16,728	135,795	4,456	140,251	—	140,251
セグメント間の内 部売上高又は振替 高	1,379	855	26	2,261	555	2,817	△2,817	—
計	54,636	66,666	16,754	138,057	5,011	143,068	△2,817	140,251
セグメント利益又は 損失(△)	17,833	18,391	3,100	39,325	△741	38,583	△16,831	21,752
セグメント資産	57,633	64,974	14,326	136,934	8,257	145,192	126,423	271,615
その他の項目								
減価償却費	3,723	4,416	861	9,001	529	9,530	3,078	12,609
のれん償却額	149	—	22	171	—	171	—	171
有形固定資産及び 無形固定資産の増 加額	8,010	8,936	889	17,835	595	18,431	2,419	20,850

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、半導体レーザーに係る事業、子会社の㈱磐田グランドホテルが営むホテル事業及び子会社の北京浜松光子技術股份有限公司の独自製品に係る事業を含んでおります。

2 調整額は以下のとおりであります。

- (1) セグメント利益又は損失(△)の調整額△16,831百万円には、セグメント間取引消去△1,096百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△15,734百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び基礎的研究費であります。
- (2) セグメント資産の調整額126,423百万円の主な内容は、各報告セグメントに配分していない全社資産であります。
- (3) 減価償却費の調整額3,078百万円の主な内容は、各報告セグメントに配分していない全社資産に係る減価償却費であります。
- (4) 有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額2,419百万円の主な内容は、各報告セグメントに配分していない全社資産に係る固定資産の増加額であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

4 有形固定資産及び無形固定資産の増加額には、新規連結に伴う増加額を含めておりません。

## (1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2018年10月1日 至 2019年9月30日)	当連結会計年度 (自 2019年10月1日 至 2020年9月30日)
1株当たり純資産額	1,311円11銭	1,373円79銭
1株当たり当期純利益	128円67銭	106円73銭

(注) 1 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、次のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (自 2018年10月1日 至 2019年9月30日)	当連結会計年度 (自 2019年10月1日 至 2020年9月30日)
親会社株主に帰属する当期純利益(百万円)	19,918	16,523
普通株主に帰属しない金額(百万円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益(百万円)	19,918	16,523
普通株式の期中平均株式数(千株)	154,797	154,808

## (重要な後発事象)

該当事項はありません。

## 4. 個別財務諸表

## (1) 貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (2019年9月30日)	当事業年度 (2020年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	54,453	45,618
受取手形	5,452	5,079
売掛金	27,080	25,912
有価証券	3,000	6,000
商品及び製品	3,105	4,268
仕掛品	18,657	21,131
原材料及び貯蔵品	7,761	9,350
未収入金	3,168	5,808
その他	429	442
貸倒引当金	△35	△36
流動資産合計	123,075	123,575
固定資産		
有形固定資産		
建物	28,985	40,187
構築物	1,798	2,099
機械及び装置	10,921	11,760
車両運搬具	28	20
工具、器具及び備品	3,326	3,729
土地	14,957	15,252
リース資産	193	429
建設仮勘定	8,213	3,569
有形固定資産合計	68,425	77,049
無形固定資産		
特許権	96	94
ソフトウェア	560	673
その他	20	27
無形固定資産合計	677	795
投資その他の資産		
投資有価証券	1,891	1,888
関係会社株式	8,381	8,848
出資金	1	0
関係会社出資金	1,414	1,657
繰延税金資産	9,126	9,120
投資不動産	283	282
その他	439	484
貸倒引当金	△19	△19
投資その他の資産合計	21,518	22,263
固定資産合計	90,622	100,109
資産合計	213,697	223,685

(単位：百万円)

	前事業年度 (2019年9月30日)	当事業年度 (2020年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
電子記録債務	5,771	6,030
買掛金	5,431	5,527
リース債務	82	172
未払金	3,453	5,248
未払費用	1,006	1,077
未払法人税等	2,604	2,068
前受金	22	73
預り金	302	285
賞与引当金	4,140	3,893
設備関係電子記録債務	5,511	6,238
従業員預り金	2,350	2,326
その他	7	32
流動負債合計	30,683	32,973
固定負債		
長期借入金	6,000	6,000
リース債務	132	304
厚生年金基金解散損失引当金	519	503
退職給付引当金	6,329	5,932
関係会社事業損失引当金	—	550
資産除去債務	250	254
その他	212	212
固定負債合計	13,444	13,756
負債合計	44,128	46,730
純資産の部		
株主資本		
資本金	34,928	34,964
資本剰余金		
資本準備金	34,636	34,672
資本剰余金合計	34,636	34,672
利益剰余金		
利益準備金	695	695
その他利益剰余金		
特別償却準備金	5	1
配当準備積立金	6,500	6,500
別途積立金	91,600	102,600
繰越利益剰余金	21,249	17,570
利益剰余金合計	120,050	127,366
自己株式	△20,791	△20,791
株主資本合計	168,824	176,211
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	744	742
評価・換算差額等合計	744	742
純資産合計	169,569	176,954
負債純資産合計	213,697	223,685

## (2) 損益計算書

(単位：百万円)

	前事業年度 (自 2018年10月1日 至 2019年9月30日)	当事業年度 (自 2019年10月1日 至 2020年9月30日)
売上高	119,763	115,586
売上原価	70,044	70,060
売上総利益	49,718	45,525
販売費及び一般管理費	32,236	31,585
営業利益	17,482	13,940
営業外収益		
受取利息	4	3
受取配当金	3,944	3,459
投資不動産賃貸料	51	59
雑収入	510	496
営業外収益合計	4,510	4,018
営業外費用		
支払利息	35	35
不動産賃貸費用	124	117
為替差損	27	37
雑損失	33	7
営業外費用合計	220	197
経常利益	21,771	17,761
特別利益		
固定資産売却益	20	46
補助金収入	113	222
投資有価証券売却益	—	3
特別利益合計	134	271
特別損失		
固定資産売却損	58	0
固定資産除却損	29	26
固定資産圧縮損	113	191
投資有価証券評価損	9	5
関係会社事業損失引当金繰入額	—	550
特別損失合計	211	773
税引前当期純利益	21,694	17,260
法人税、住民税及び事業税	4,447	3,743
法人税等調整額	△79	△2
法人税等合計	4,367	3,740
当期純利益	17,326	13,519

(3) 株主資本等変動計算書

前事業年度(自 2018年10月1日 至 2019年9月30日)

(単位:百万円)

	株主資本								
	資本金	資本剰余金		利益準備金	利益剰余金				利益剰余金合計
		資本準備金	資本剰余金合計		その他利益剰余金				
				特別償却準備金	配当準備積立金	別途積立金	繰越利益剰余金		
当期首残高	34,928	34,636	34,636	695	9	4,500	82,600	21,121	108,926
当期変動額									
新株の発行			-						
特別償却準備金の取崩					△4			4	-
配当準備積立金の積立						2,000		△2,000	-
別途積立金の積立							9,000	△9,000	-
剰余金の配当								△3,101	△3,101
剰余金の配当(中間配当)								△3,101	△3,101
当期純利益								17,326	17,326
自己株式の取得									
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)									
当期変動額合計	-	-	-	-	△4	2,000	9,000	128	11,123
当期末残高	34,928	34,636	34,636	695	5	6,500	91,600	21,249	120,050

	株主資本		評価・換算差額等		純資産合計
	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	評価・換算差額等合計	
当期首残高	△20,791	157,700	1,545	1,545	159,245
当期変動額					
新株の発行		-			-
特別償却準備金の取崩		-			-
配当準備積立金の積立		-			-
別途積立金の積立		-			-
剰余金の配当		△3,101			△3,101
剰余金の配当(中間配当)		△3,101			△3,101
当期純利益		17,326			17,326
自己株式の取得		-			-
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)			△800	△800	△800
当期変動額合計	-	11,123	△800	△800	10,323
当期末残高	△20,791	168,824	744	744	169,569

当事業年度(自 2019年10月1日 至 2020年9月30日)

(単位:百万円)

	株主資本								
	資本金	資本剰余金		利益準備金	利益剰余金				利益剰余金合計
		資本準備金	資本剰余金合計		その他利益剰余金				
				特別償却準備金	配当準備積立金	別途積立金	繰越利益剰余金		
当期首残高	34,928	34,636	34,636	695	5	6,500	91,600	21,249	120,050
当期変動額									
新株の発行	35	35	35						
特別償却準備金の取崩					△4			4	-
配当準備積立金の積立									-
別途積立金の積立							11,000	△11,000	-
剰余金の配当								△3,101	△3,101
剰余金の配当(中間配当)								△3,101	△3,101
当期純利益								13,519	13,519
自己株式の取得									
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)									
当期変動額合計	35	35	35	-	△4	-	11,000	△3,679	7,316
当期末残高	34,964	34,672	34,672	695	1	6,500	102,600	17,570	127,366

	株主資本		評価・換算差額等		純資産合計
	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	評価・換算差額等合計	
当期首残高	△20,791	168,824	744	744	169,569
当期変動額					
新株の発行		71			71
特別償却準備金の取崩		-			-
配当準備積立金の積立		-			-
別途積立金の積立		-			-
剰余金の配当		△3,101			△3,101
剰余金の配当(中間配当)		△3,101			△3,101
当期純利益		13,519			13,519
自己株式の取得	△0	△0			△0
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)			△1	△1	△1
当期変動額合計	△0	7,387	△1	△1	7,385
当期末残高	△20,791	176,211	742	742	176,954